

本当かな!! ～ 27G小切開硝子体手術 ～

座長の言葉

低侵襲化手術に向かう時代のニーズに応じて、硝子体手術領域も23Gや25Gによる経結膜小切開手術が普及してきておりますが、自己閉鎖創を得るために特殊な手技や工夫を凝らすも、未だに手術の真髄であるsafety, quality, simplicityの3原則を完璧に具現化するに至っておりません。今般DORC社から販売が開始される27G硝子体手術システムは低侵襲硝子体手術の真髄にさらに近づくために実現したものです。今回のランチョンセミナーでは、この27Gシステムの開発から深く関わって来ました大島先生にその開発の背景について、ドイツのシャリオット先生には過去2年にわたる多数例の臨床経験について、さらには新進気鋭な網膜硝子体術者である王先生、大澤先生から実際に27Gでどこまで手術が実施できるのかについて講演を頂きますので、本邦での新しいスモールゲージの幕開けに是非ともご参集頂ければ幸いです。

第35回日本眼科手術学会総会共催 ランチョンセミナー

- 開催 日：1月28日(土)
- 開催 時間：12:30～13:30
- 開催 会場：第9会場
(名古屋国際会議場2号館3F
会議室232-233)

座長



平形 明人先生

杏林大学

- 1982年 慶應義塾大学医学部卒業、同眼科学教室入局
- 1987年 慶應義塾大学医学部助手
- 1989年 米国Duke大学Eye Center留学
- 1992年 杏林大学医学部眼科講師
- 1997年 杏林大学医学部眼科助教授
- 2005年 杏林大学医学部眼科教授
- 2008年 杏林大学医学部眼科主任教授
現在に至る

演者



大島 佑介先生

大阪大学

- 1992年 大阪大学医学部卒・同附属病院研修医(眼科)
- 1993年 多根記念眼科病院・医員
- 1994年 淀川キリスト教病院眼科・医員
- 1996年 大阪労災病院眼科・医員
- 1999年 大阪大学大学院医学系研究科・博士課程、京都大学再生
医科学研究所・研究員
- 2003年 大阪大学大学院医学系研究科・眼科助手(現・助教)
- 2010年 同・眼科講師 現在に至る



Dr Gabor Scharioth

Aurelios Augenzentrum in Recklinghausen, Germany
University of Szeged, Hungary

- 1993年 Humboldt University of Berlin, Campus Charité, Berlin, Germany
Augentagesklinik Groß-Pankow, Germany
Senatsverwaltung für Gesundheit, Berlin, Germany
- 1995年 Humboldt Universität zu Berlin, Campus Virchow, Germany
- 1998年 Aravind Eye Hospital, Madurai, India
Humboldt University of Berlin, Germany
- 2002年～ Augenzentrum Recklinghausen in Recklinghausen, Germany
2011年～ University of Szeged, Hungary



王 英泰先生

兵庫県立尼崎病院

- 1993年 京都大学医学部 卒業
- 1994年 天理よろず相談所病院眼科
- 1997年 京都大学大学院医学研究科
ヘルギー・ルーバン大学 研究員
- 2002年 文部科学省特定長期派遣研究員 兼任
- 2003年 倉敷中央病院眼科 副院長
- 2005年 京都大学眼科 助教
- 2007年 兵庫県立尼崎病院眼科 医員 現在に至る



大澤 俊介先生

岡波総合病院

- 1997年 長崎大学 医学部 卒業
三重大学 医学部 眼科学教室入局
- 1999年 国立三重中央病院(現 三重中央医療センター)
- 2001年 山本総合病院
- 2003年 三重大学眼科
- 2004年 山田赤十字病院 眼科 副部長
- 2007年 岡波総合病院 眼科 医長
現在に至る